

IPC 公認

第15回九州チャレンジ陸上競技選手権大会要綱

1 主 催

熊本県障害者スポーツ・文化協会  
日本身体障害者陸上競技連盟

2 主 管

熊本陸上競技協会  
第15回九州チャレンジ陸上競技選手権大会実行委員会

3 後 援(予定)

熊本県、熊本市、(財)日本障害者スポーツ協会、(財)全日本ろうあ連盟、日本盲人マラソン協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社西部本社、熊本日日新聞社、西日本新聞社熊本総局、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791

4 協 力(予定)

九州身体障害者陸上競技協会  
熊本県障害者スポーツ指導者協議会

5 特別協賛(予定)

三井住友海上あいおい生命保険(株)

6 日 時

平成24年3月18日(日)

午前9時 受付開始

午前9時30分 開会

午前10時 競技開始

午後4時 競技終了予定

7 会 場

熊本県民総合運動公園 陸上競技場 KKWING

〒861-8012

熊本市平山町2776 TEL096-380-0782

## 8 参加資格及び制限

- (1) 平成23年度「日本身体障害者陸上競技連盟」、「全日本ろうあ連盟」、「日本盲人マラソン協会」のいずれかに登録している者。または、熊本県内在住の身体障害者。及び、日本知的障害者陸上競技連盟の推薦を受けた者。
- (2) 参加種目は、1人2種目以内とする。但し、競技時間が重なる場合はトラックを優先する。
- (3) 5000m及び10000m競走は、次のとおり参加標準記録を設ける。

5000m男子	(過去2年以内に30分以内の記録を持つ者。)
5000m女子	(過去2年以内に35分以内の記録を持つ者。)
10000m	(過去2年以内に60分以内の記録を持つ者。)

## 9 競技グループ及び競技種目

別紙グループ別競技種目一覧表のとおり。

## 10 競技規則

- (1) 2011-2012 IPC Athletics 競技規則、平成23年度日本身体障害者陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
- (2) 予選は行わないものとし、グループごとの決勝とする。
- (3) トラック競技において、予選、決勝の最大人数を上回る競技グループがある場合は、予選は行わずエントリータイムにより分けた組によるタイムレース決勝とする。
- (4) フィールド競技における試技は、走高跳を除き各種目とも6回とする。  
ただし、投てき競技における計測は、競技運営上、各試技ごとに計測しないことがある。

## 11 表彰

- (1) 本大会における自己記録を更新した者に、記念品を授与する。
- (2) 大会参加者に記録証を授与する。

## 12 参加料

- (1) 平成23年度「日本身体障害者陸上競技連盟」、「全日本ろうあ連盟」、「日本盲人マラソン協会」のいずれかに登記・登録している者。

1人	2,000円	(申込みと同時に納入のこと。)
----	--------	-----------------
- (2) 熊本県内在住の身体障害者。または、日本知的障害者陸上競技連盟の推薦を受けた者。

1人	3,000円	(申込みと同時に納入のこと。)
----	--------	-----------------

13 ドーピング検査について

本大会では、ドーピング検査を実施する。

14 安全管理について

(1) 大会当日の傷害保険については主催者において加入するが、参加にあたっては、各選手において医師の診断を受けるなど自己の責任において健康と安全に十分に留意すること。

(2) 健康保険証を持参すること。

15 参加申込

(1) 別紙申込書により、平成24年2月11日(土)まで大会事務局に必着のこと。締め切り後の申込み及び種目の変更は、受け付けない。

事務局	熊本県障害者スポーツ・文化協会
	〒861-8039 熊本県熊本市長嶺南2丁目3番2号
	T E L 096-383-6553 F A X 096-383-6554

参加料は、申込みと同時に郵便為替口座に納入すること。

(一旦納入された参加料は、返金しない。)

郵便振替口座番号 01720-9-57111

郵便振替口座名称 熊本県障害者スポーツ・文化協会

16 個人情報等について

個人情報は、大会への参加資格の確認、プログラム編成、作成、その他競技運営及び大会に必要な連絡等に使用する。

また、参加者の氏名、住所、年齢、肖像等が大会等に関する広報全般、情報メディアに使用され、これらに付随して主催者が制作する印刷物、広報メディア等に使用されることに支障がある場合は、申し込み時に申し出ること。申し出がない場合は、同意したものとみなすこととする。

17 その他

本大会は、「2012ロンドンパラリンピック大会」のJPCへの推薦指定大会とする。

## 競技注意事項

- 1、本大会は、2011-2012 IPC-Athletics 競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う
- 2、「本大会は IPC 公認大会であるので「ZERO FALSESTART」ルールを適用してトラック種目を行う。そのため、不正出発は 1 回目で失格となることを充分理解しておくこと。」
- 3、招集について
  - (1) 招集場所は、正面スタンドに向かって右スタンド下付近（第 3 ゲートと第 4 ゲートの間）とする。
  - (2) 招集は、次のとおりとする。

競技種目	招集開始	招集完了
トラック競技	30 分前	20 分前
フィールド競技	40 分前	30 分前

- ・招集は、招集所に掲示してある出場者名簿に招集開始時刻前までにチェックをすること。（自分の番号を○で囲む。代理人でも可）
  - ・招集完了時刻には、選手は招集所に待機し、競技者係のコールでナンバーカードを見せ確認を受ける。最終コールに遅れた者は棄権とみなす。
  - ・代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に 2 種目以上の競技に出場する者は、あらかじめ競技者係に申し出ること。この場合、早く開始されている競技の招集は決められた時間に行うこと。
- 4、練習について
    - ・補助競技場または屋内走路（バックスタンド下）を使用すること。
    - ・競技に支障がない場合は、審判員の指示に従ってバックストレートでの練習を認める。
    - ・投てき練習は、投てき競技場において審判員の指示により行うこと。  
また、投てき競技場では、砲丸投、円盤投、やり投、こん棒投の競技を行うので練習できないこともある。
  - 5、予選は行わずタイムレース決勝とする。
  - 6、フィールド競技における試技は、各種目とも 6 回とする。（走高跳競技を除く）  
ただし、最初の 3 回の試技がすべて無効試技であった場合は残り 3 回の試技はできないものとする。最初の 3 回がすべて無効試技であったものは、予選落ち扱いとする。  
また、投てき競技における計測は、競技運営上、各試技ごとに計測しないことがある。
  - 7、競技の終了した選手は、必ず記録証発行場所で記録証を受け取ること。  
また、本大会における自己記録を更新した選手は記念品を受け取ること。
  - 8、スパイクのピンは、全天候型で 9 mm 以下のものを使用すること。  
(ただし、走高跳競技、やり投競技においては 12 mm 以下のものとする。)
  - 9、ナンバーカードについて
    - ・ナンバーカードは配布されたものを使用し、立位の者はユニフォームの背部と胸部に付けること。（折り曲げないこと）なお、走高跳に出場する選手は、背部または胸部どちらかでよい。
    - ・車椅子使用者は、車椅子の背部と胸部または脚部（両大腿切断者は車椅子の前面）に審判員に確実に見えるようにすること。（折り曲げないこと）
  - 10、車椅子の競走競技（800 m 以上）では、ヘルメットを使用すること。

- 11、T 1 1 (B 1 クラス) の選手は、フィールド競技と 1 5 0 0 m 以下のトラック競技では、アイマスクもしくはそれに該当するものを装着すること。
- 12、本大会はドーピング検査を行う。
- 13、荷物等は、各自で管理して盗難に十分注意すること。
- 14、タバコは、指定された場所（灰皿の設置場所）で喫煙すること。  
(競技場内での喫煙を見つけた場合は、退場させる。)
- 15、ゴミは各自で処分すること。

適切な水分補給をして、熱中症の積極的な予防を心がけましょう。

- ・いつもよりたくさんの水分を補給しましょう。
- ・汗をかいた時などは水分とイオンを同時に補給しましょう。